

08款	土木費	01項	土木管理費	01目	土木総務費	
事業名					国道107号休憩施設整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国道107号沿いに位置する産直ともちゃんは、遠野市の防災拠点に位置づけられていることから、太陽光発電設備を整備し、非常時の利用環境の向上を図る。</p> <p>さらに東北横断自動車道釜石秋田線宮守インターチェンジの供用開始により交通量が増加することから、24時間利用可能なトイレ施設を整備し、ドライバーへより良い休憩施設を提供していく。</p>			計画値	<p>トイレ増設 浄化槽51人槽 218人槽</p>	
	成果	<p>既存トイレを供用しながらの工程であったため、工事を一部平成28年度に繰り越して実施した。</p>			実績値	<p>トイレ増設 浄化槽51人槽 218人槽</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
107,763,000	62,489,000	28,801,000	31,900,000	0	1,788,000	

08款	土木費	01項	土木管理費	01目	土木総務費	
事業名					遠野風の丘機能充実整備事業費	単位：円
事業内容	<p>全国モデル「道の駅」に選定された遠野風の丘について、東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通を視野に入れ、その機能の充実を図るための検討会の開催や、誘客を図るための駐車場の改修及び拡張工事を実施する。</p>			計画値	<p>機能充実検討会の開催 3回 駐車場改修及び拡張工事</p>	
	成果	<p>国・県・有識者等による機能充実検討会を開催し、駐車場の改修内容等の協議や、魅力アップのためのアイデアコンペを実施した。</p> <p>遠野インターチェンジ開通による遠野風の丘周辺の交通量、入込来客数及び売上などの影響を調査した結果、誘客のための改修内容を改めて検討する必要が生じたため、当初予定していた駐車場の改修および拡張工事を見合わせ、施設の全体的な機能充実基本計画の策定や施設の改修、用地取得等を翌年度に繰り越し、引き続き取り組む。</p>			実績値	<p>機能充実検討会の開催 3回 遠野風の丘周辺交通量調査 2回 事業用地取得に係る不動産鑑定評価業務（3筆）1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
39,438,000	970,200	0	0	0	970,200	

08款	土木費	01項	土木管理費	01目	土木総務費	
事業名					復興道路遠野 I (周辺整備調査事業費 (線越明許費))	単位：円
事業内容	東北横断自動車道釜石秋田線の釜石花巻間には道路利用者向けの休憩施設が無いことから、道の駅「遠野風の丘」に休憩施設の整備を行い、道路利用者の利便性の向上を図る。併せて道の駅の機能充実を目指す。			計画値	施設整備基本計画検討 N = 1 式	
	成果	道の駅の機能向上に向けた検討と、建物や駐車場のリニューアル計画を策定する。 関係機関との協議に時間を要することから、平成28年度に繰り越して実施する。			実績値	施設整備基本計画検討 N = 1 式
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,222,000	4,540,320	0	0	0	4,540,320	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	02目	道路維持費	
事業名					車両管理費	単位：円
事業内容	良好な道路を維持管理するための道路維持作業車を適切に整備し、また老朽化が著しい車両を適宜更新していく。 平成27年度は除雪ドーザ(8t)を1台購入し、適切な除雪を実施する。			計画値	除雪ドーザ(8t)購入 1台	
	成果	道路維持作業車の適切な維持管理を行った。 また、除雪ドーザを1台購入し、適切な除雪を実施した。			実績値	除雪ドーザ(8t)購入 1台
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
24,208,000	23,098,446	0	13,200,000	0	9,898,446	

08款 土木費		02項 道路橋梁費		02目 道路維持費		
事業名 橋梁長寿命化整備事業費					単位：円	
事業内容	管理している橋梁の老朽化が進んできているため、橋梁長寿命化修繕計画（橋長15m以上）に基づいて計画的に橋梁を修繕し、安全安心な交通を確保する。 平成27年度は、老朽化が著しい初音橋の修繕工事を実施する。			計 画 値	初音橋修繕	N = 1 橋
	成果	初音橋の老朽化したコンクリート部分、舗装部分を修復し、橋梁の延命化を図った。 年度内の完成が見込めないため、工事の一部を平成28年度に繰り越して実施する。			実 績 値	初音橋修繕
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
93,019,000	26,190,000	17,023,000	9,100,000	0	67,000	

08款 土木費		02項 道路橋梁費		02目 道路維持費		
事業名 道路ストック総点検事業費					単位：円	
事業内容	道路法の改正により、道路構造物を5年に1度の定期点検することが義務付けられたことから、橋梁の点検業務を行う。			計 画 値	橋梁点検	N = 107橋
	成果	5年毎の点検を継続して行うことにより、橋梁の老朽化状態を把握することができた。 今年度調査した107橋においては、緊急措置を要する判定区分の橋梁は無かった。 今後も継続して点検を行い、判定区分の橋梁が判明した際は至急修繕していく。			実 績 値	橋梁点検
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
18,167,000	16,945,200	10,986,000	0	0	5,959,200	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	02目	道路維持費	
事業名					市道等管理費（線越明許費）	単位：円
事業内容	<p>安心で安全な市道等を整備するため、除雪等委託、維持補修工事等を実施する。 資材の調達で遅れた下記2路線を繰り越して実施した。</p> <p>1 新里西野線水路改修工事 2 中沢川木橋修繕工事</p>			計画値	<p>新里西野線水路改修工事 L = 114.0m 中沢川木橋修繕工事 N = 1式</p>	
	成果	<p>安全安心な水路及び橋梁を整備することができた。</p>			実績値	<p>新里西野線水路改修工事 L = 114.0m 中沢川木橋修繕工事 N = 1式</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,140,000	13,138,640	0	0	0	13,138,640	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					道路新設改良事業費	単位：円
事業内容	<p>岩手県が実施する河川改修工事に伴って安居台橋の改良工事を行うため幅員拡幅分を岩手県と費用負担する。</p>			計画値	<p>張山安居台線負担金 58,746千円</p>	
	成果	<p>平成24～28年度の5カ年事業の4年目。岩手県と連携しながら事業を進めることができた。</p>			実績値	<p>張山安居台線負担金 56,720千円</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
56,720,000	56,719,555	36,867,000	19,800,000	0	52,555	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					生活に身近な道づくり事業費	単位：円
事業内容	<p>当市は広大な面積を有し、集落が点在しているために市民に身近な生活道路整備が遅れている状況にあり、これらに関連する市民要望が多く寄せられている。</p> <p>また「市長と語る会」においても同様の課題や要望が寄せられたことから「生活に身近な道づくり事業計画」を策定し、市民の生活基盤づくりを図ってきた。</p> <p>平成25年度に「生活に身近な道づくり（第4期H26～H28）事業計画」を策定し、社会資本整備総合交付金制度を活用して計画的に整備する。</p>			計画値	道路改良工事	4件
	成果	<p>この事業は生活に身近な道路を整備する事業であり、整備効果がすぐに発揮されて住民の利便性向上となっている。</p> <p>なお、資材の供給が遅れたため、路線の一部を平成28年度に繰り越して実施する。</p> <p>【整備路線】 伊原平倉線 L = 160.0m</p>			実績値	道路改良工事
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
29,500,000	2,764,800	0	0	0	2,764,800	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					道路新設改良事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>1 大工町駒木線 区間内の一部が歩道未整備であることから、通行車両及び歩行者の安全と円滑な通行確保のために歩道整備を行う。</p> <p>2 宿野尻線 附馬牛町東禅寺地区の幅員狭小な民家練連担部を拡幅改良し、快適な道路を整備する。</p>			計画値	大工町駒木線 施工延長 L = 220.0m	
	成果	<p>1 大工町駒木線 幅員W = 2.5mの歩道を整備した。電柱の移転補償に時間を要したことから、平成27年度に繰り越して実施した。</p> <p>2 宿野尻線 幅員をW = 5.0 (6.0) mに拡げて快適な道路を整備した。資材の供給が遅れたため、平成27年度に繰り越して実施した。</p>			実績値	大工町駒木線 施工延長 L = 232.4m
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
40,850,000	40,056,120	24,725,000	8,600,000	0	6,731,120	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					生活に身近な道づくり事業費（線越明許費）	単位：円
事業内容	<p>当市は広大な面積を有し、集落が点在しているために市民に身近な生活道路整備が遅れている状況にあり、これらに関連する市民要望が多く寄せられている。</p> <p>また「市長と語る会」においても同様の課題や要望が寄せられたことから「生活に身近な道づくり事業計画」を策定し、市民の生活基盤づくりを図ってきた。</p> <p>平成25年度に「生活に身近な道づくり（第4期H26～H28）事業計画」を策定し、社会資本整備総合交付金制度を活用して計画的に整備する。</p>			計画	道路改良工事	6件
	成果	<p>この事業は生活に身近な道路を整備する事業であり、整備効果がすぐに発揮されて住民の利便性向上となっている。</p> <p>なお、資材の供給が遅れたため、路線の一部を繰り越して実施した。</p> <p>【整備路線】</p> <p>1 早瀬町小平線（L = 181.4m）うち線越（L = 90.7m）</p> <p>2 早瀬町6号線（L = 154.7m）（L = 77.4m）</p> <p>3 早瀬町8号線（L = 51.3m）（L = 25.7m）</p> <p>4 矢崎荒屋線（L = 65.9m）（L = 32.9m）</p> <p>5 大寺観音前線（L = 448.8m）（L = 448.8m）</p> <p>6 大寺西線（L = 150.0m）（L = 150.0m）</p>			実績	道路改良工事
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
40,474,000	40,386,600	25,490,000	8,000,000	0	6,896,600	

08款	土木費	03項	河川費	02目	水路費	
事業名					生活に身近な水路整備事業費	単位：円
事業内容	<p>宅地化の進行により農業用水路に生活雑排水が流入して水質汚濁が進んでいる。さらに、小断面のために豪雨時には水路から越流し、市民生活に大きな影響を与えている。</p> <p>また、東北横断自動車道釜石秋田線建設に伴う山地からの雨水排水の流末整備が必要になってきている。</p> <p>そのため「生活に身近な水路整備事業計画（第3期H26～H28）」に基づき、市民生活に密着したこれらの水路を整備する。</p>			計画	水路測量設計業務委託	4路線
	成果	<p>適切な水路を整備することにより、安心安全な生活環境を提供することができた。</p> <p>4路線の測量設計業務委託を予定していたが、用地交渉が難航したため、3路線のみ実施した。</p> <p>【設計路線】</p> <p>八幡水路、日影2水路、平野原水路</p>			実績	水路測量設計業務委託
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,824,000	3,823,200	0	0	0	3,823,200	

08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費	
事業名					遠野都市計画区域等変更事業費	単位：円
事業内容	平成26年度に改訂した都市計画マスタープランに基づき、都市計画区域、都市計画道路及び都市計画公園を順次見直す計画であり、平成27年度から2カ年度で都市計画区域の変更を行う。平成27年度は、都市計画区域変更素案を作成後、住民説明会を開催して住民意見を反映させながら素案をとりまとめる。			計 画 値	都市計画区域変更素案作成 住民説明会開催	
	成果	県都市計画課との協議を踏まえ、遠野IC、遠野住田IC及び遠野東工業団地周辺等を含む一部地域を拡大する変更素案を作成し、市内4会場において住民説明会を開催した。 平成27、28年度の2カ年度で業務を進めるが、平成28年度に行う関係機関との協議に向けた素案をとりまとめることができた。			実 績 値	都市計画区域変更素案作成 住民説明会開催 4会場 参加者34人
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2,927,000	2,400,840	0	0	0	2,400,840	

08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費	
事業名					都市計画マスタープラン策定事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成26年度に改訂した都市計画マスタープランの報告書及び概要版を作成する。県との意見調整に時間を要し、年度内の完了が見込めないため、平成27年度に繰り越して実施する。			計 画 値	製本印刷 報告書 300部 概要版 500部	
	成果	都市計画マスタープラン改訂版の報告書及び概要版を関係機関に配布し、内容を周知した。			実 績 値	製本印刷 報告書 300部 概要版 500部
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
776,000	775,600	0	0	0	775,600	

08款	土木費	04項	都市計画費	02目	土地区画整理事業費	
事業名					稲荷下第二地区土地区画整理事業費	単位：円
事業内容	<p>中心市街地の周辺において、無秩序な宅地化が進行し、都市機能の停滞や生活環境の悪化をもたらしていることから、良好な住環境を形成する道路及び公園を計画的に配置し、有効な土地利用と健全なまちづくりを進める。</p> <p>【全体概要】 施行面積 A = 19.7ha 計画年度 平成12年度～平成33年度 都市計画道路 W = 9.0～12.0m L = 1,834.5m 区画道路 W = 1.5～10.0m L = 3,532.2m 公園 A = 6,100㎡、建物移転戸数 146戸</p>			計 画 値	宅地造成工事 0.41ha	
	成果	<p>良好な住宅地形成のため宅地造成工事を実施し、安全で快適な住環境を整備した。 なお、宅地造成計画に係る権利者との交渉に時間を要したことから、平成28年度に一部事業を繰り越して実施する。</p> <p>【整備内容】 宅地造成工事 面積 A = 0.17ha</p>			実 績 値	宅地造成工事 0.17ha
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
103,325,000	42,120,130	0	0	16,557,633	25,562,497	

08款	土木費	04項	都市計画費	02目	土地区画整理事業費	
事業名					稲荷下第二地区土地区画整理事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>中心市街地の周辺において、無秩序な宅地化が進行し、都市機能の停滞や生活環境の悪化をもたらしていることから、良好な住環境を形成する道路及び公園を計画的に配置し、有効な土地利用と健全なまちづくりを進める。</p> <p>【全体概要】 施行面積 A = 19.7ha 計画年度 平成12年度～平成33年度 都市計画道路 W = 9.0～12.0m L = 1,834.5m 区画道路 W = 1.5～10.0m L = 3,532.2m 公園 A = 6,100㎡、建物移転戸数 146戸</p>			計 画 値	都市計画道路 （歩行者専用道路）798.3m 区画道路 488.7m 3号街区公園 1,600㎡ 宅地造成 1.62ha	
	成果	<p>良好な住宅地形成のため、宅地造成工事や道路工事を実施し、安全で快適な住環境を整備した。歩行者専用道路、区画道路、3号街区公園、宅地造成工事を実施した。</p> <p>【整備内容】 歩行者専用道路 延長L=798.3m 区画道路 延長L=485.2m 3号街区公園 面積A=1,600㎡ 宅地造成 面積A=1.84ha</p>			実 績 値	都市計画道路 （歩行者専用道路）798.3m 区画道路 485.2m 3号街区公園 1,600㎡ 宅地造成 1.84ha
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
388,373,000	383,722,170	102,715,000	0	0	281,007,170	

08款	土木費	04項	都市計画費	03目	公園費	
事業名					鍋倉公園緑化再生事業費	単位：円
事業内容	密集化した樹木を伐採剪定することにより公園内樹木の健全な育成を図るとともに地域住民や観光客の憩いの場として公園内の環境を整える。			計画値	鍋倉公園三ノ丸、北側の樹木の伐採剪定等管理	
	成果	1 鍋倉公園北側斜面の杉の伐採を行うことにより、樹木の健全な育成を図り、地域住民や観光客等の憩いの場として公園内の環境整備を行うことができた。 2 老木のため雪害により枝折れした樹木の剪定を行い、公園利用者の安全を確保することが出来た。			実績値	1 杉 26本伐採 2 三ノ丸樹木の剪定面積 0.7ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,162,000	2,151,360	0	0	2,000,000	151,360	

08款	土木費	04項	都市計画費	03目	公園費	
事業名					鍋倉公園緑化再生事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	鍋倉公園北側の眺望の確保と境内周辺の老木の間伐、剪定を行い、樹木の健全な育成を図るとともに地域住民や観光客の憩いの場として公園内の環境を整える。 高木の剪定を行える専門の作業員が不足し、年度内完了が見込めないため平成27年度に繰り越して実施する。			計画値	北側斜面の間伐、剪定	
	成果	鍋倉公園北側斜面の樹木の間伐、剪定を行い、樹木の健全な育成を図り、眺望を確保することで地域住民や観光客の憩いの場として公園内の環境整備を行うことができた。			実績値	カツラ 3本強剪定 雑木 6本剪定 6本伐採
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,158,000	2,157,840	0	0	2,000,000	157,840	

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費															
事業名					木造住宅耐震診断・改修支援事業費	単位：円														
事業内容	1 大規模地震発生の際に住宅倒壊等の被害軽減を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日以前に建築された戸建の木造住宅に対し、住宅所有者からの申込に基づき、県の認定を受けている市内の建築士事務所及び工務店に所属する耐震診断士を派遣し、木造住宅の耐震診断を実施する。			計 画 値	耐震診断戸数	20戸														
	2 耐震診断の結果に基づき耐震改修工事を実施する住宅所有者に対して改修費補助金を交付する。				耐震改修戸数	5戸														
成果	耐震診断の実施により、住宅の地震に対する倒壊の危険性について把握することができた。 広報紙や遠野テレビ等を利用しPRを行ったほか、事業者と連携し耐震診断・耐震改修制度の周知を行い、リフォーム工事補助等と併せて積極的な利用を促したが、計画値には及ばなかった。要因としては、耐震診断は耐震改修を前提にしており、耐震改修工事費用の自己負担が大きいという理由から診断・改修にいたるケースが少なかったと考えられる。			実 績 値	耐震診断戸数	1戸														
					耐震改修戸数	0戸														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
		155,000		30,857		国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
						20,868					0				3,000					6,989

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費															
事業名					快適住マイル応援事業費	単位：円														
事業内容	市民の快適な居住環境の整備並びに市内の住宅関連産業の振興及び商業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、市民が住宅のリフォーム、水洗化、子ども室の増築等の工事に要した経費に対し商品券により助成する。			計 画 値	住宅リフォーム	50件														
					住宅水洗化	20件														
成果	住宅リフォーム、水洗化、子ども室の増築等の工事費用の助成により市民の快適な居住環境が整備されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。 申請者のうち、年度内の完了が見込めない3戸(5件)分について、平成28年度に繰り越して実施する。 【平成28年度への繰越件数】 住宅リフォーム3件、住宅水洗化2件			実 績 値	住宅リフォーム	44件 (次年度繰越3件)														
					住宅水洗化	38件 (次年度繰越2件)														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
		10,000,000		8,845,000		国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
						0					0				8,800,000					45,000

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費	
事業名					生活再建住宅支援事業費	単位：円
事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復旧のため、市民または転居者へ住宅の建築等に要する借入れの債務に係る利子及び被災住宅等の工事に要する経費に対し、補助金を交付する。 【補助基準】 利子補給：5年間分の利子補給 被災住宅補修：対象経費の1/2かつ上限30万円 被災住宅改修：対象経費の1/2かつ上限60万円 復興住宅新築バリアフリー対応：面積に応じ40～90万円 復興住宅新築県産材使用：立米数に応じ20～40万円 宅地復旧：対象経費の1/2かつ上限200万円			計 画 値	利子補給 4件 被災住宅補修、改修 38件 復興住宅新築 9件	
	成果	東日本大震災により被災した市民及び市内に新築する沿岸被災者の復旧と復興に寄与した。			実績 値	利子補給 13件 被災住宅補修、改修 36件 復興住宅新築 4件 計 53件 (市内被災者 38件) (沿岸被災者 15件)
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,000,000	14,696,000	14,696,000	0	0	0	

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費	
事業名					快適住マイル応援事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成26年度において資材不足や大工等の技術者が不足したことにより、年度内に改修工事を終わることができない方がいたため、平成27年度に繰り越して助成する。			計 画 値	住宅リフォーム 2件 住宅水洗化 3件	
	成果	住宅リフォーム、水洗化の工事の助成により市民の快適な居住環境が促進されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。			実績 値	住宅リフォーム 2件 住宅水洗化 3件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,100,000	749,000	0	0	700,000	49,000	

08款 土木費		05項 住宅費		02目 住宅建設費		
事業名 公営住宅整備事業費					単位：円	
事業内容	<p>遠野市営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅整備を図る。</p> <p>1 八幡市営住宅 耐用年数が経過した一部の住宅を改修し、高齢者等生活弱者向けの公営住宅を整備する。また、耐用年数が経過し空き家となった住宅を解体して安全確保を図る。</p> <p>2 宮守地区市営住宅 子育て世代等を支援するための公営住宅の整備に向けて、旧J A跡地周辺の用地測量を実施する。</p>			計 画 値	<p>八幡市営住宅工事 改修 1棟4戸 解体 2棟9戸 宮守地区公営住宅用地測量</p>	
	成果	<p>1 八幡市営住宅 耐用年数が経過した住宅を全面改修し、高齢者等生活弱者が安全で、安心して生活できる市営住宅を1棟整備した。また、耐用年数が経過し空き家となった市営住宅を2棟解体し、周辺における住環境の安全確保を図った。</p> <p>2 宮守地区市営住宅 将来的な市営住宅等の整備に向けて、整備予定地周辺の土地利用等を検討するため、用地測量を行った。</p>			実 績 値	<p>八幡市営住宅工事 改修 1棟4戸 解体 2棟9戸 宮守地区公営住宅用地周辺測量</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
	国 県 支 出 金		地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
49,000,000	42,558,480	10,910,000	21,600,000	0	10,048,480	